

# MOVE

April 1, 2020  
Vol.  
44



## 大学生活、何かにチャレンジしてみたいあなたへ

「大学に入学したら、何か始めてみたいけど、何をしたらいいのか迷っている。」

新入生のみさんから、毎年そのような声をよく耳にします。

クラブ・サークル活動、アルバイト、海外留学等、大学生活ではチャレンジできることはたくさんあります。

その中で、ボランティア活動という選択肢はありませんか。

今回は、ノートテイク、パソコンテイクというボランティア活動を紹介します。

ノートテイク、パソコンテイクとは、聴覚に障がいのある仲間の「耳」の代わりとなって、言葉を伝える活動です。

「なんか難しそう」

「パソコンのタイピングのスキルが必要じゃないの」

そのように思われがちですが、決してそうではありません。実際には活動を始めた時のほとんどが初心者です。

ノートテイク、パソコンテイクで活躍している2人の先輩が、活動を始めたきっかけを語ってくれました。

そして、それらの活動を通じて、自分自身をどのように成長させることができたのか、2人の先輩の体験談をご覧ください。

# 興味があったら、すぐ行動を



小山 葉月さん

(法学部4回生)



私は、入学当初パソコンテイクやノートテイクの活動を全く知らなかったのですが、ボランティアスタッフに入って、聴覚に障がいのある先輩や同級生と知り合い、大学の授業は、高校までと違って先生が板書をするのが少なく、先生の話す内容を書き留めることが重要であることを身をもって感じていたので、彼らのために力になれたらと思い、テイクとしての活動に参加することにしました。

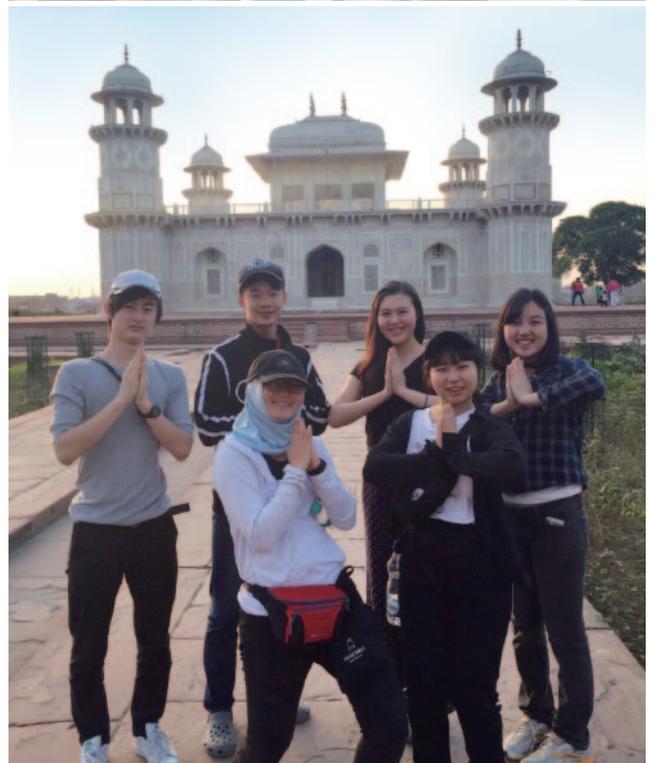
テイクとしての活動を始めるにあたって、まずはノートテイクから始めてみることにしました。ノートテイクでは、文字を大きく書かないといけないのですが、早く書くとどうしても字が小さくなったり、授業の内容を要約するのに、限られた情報量でいかに伝えるかが最初は苦労しました。

ただ、回数を重ねれば要領をつかめますし、実際の研修ではテイクとして活躍している先輩が丁寧に教えてくれます。テイクとして活動している先輩は、「向上心の塊」のような人ばかりで、ノートテイクのことだけでなく、授業や就職活動等、色々学ぶことが本当に多かったです。

ノートテイクは、語学の授業が多いのですが、私は元々自分の経験したことがない新しいことを学ぶのが好きなので、今まで勉強したことがない中国語の授業と一緒に聴くのが毎回楽しみになり、自分の中の一つの授業を受けるような気持ちで臨んだら、語学力も身につきました。また、ノートテイクは、授業の内容を要約して記録するので、自分の受ける授業でも内容をまとめる能力が付き、その結果成績も向上しました。

私は「興味があったら、すぐ行動」をモットーにしています。ノートテイクだけでなく、ボランティアスタッフとしてボランティアに参加したり、以前から行きたいと思っていたマザーテレサの施設で活動するためにインドに行ったり、応援している力士を追いかけて地方まで出かけてみたりと、やりたいことは即実行しました。

みなさんもテイクとしての活動に少しでも興味があれば、実行してみませんか。少しでもやってみたいという気持ちがあれば、それで十分です。事前に講習会で先輩が懇切丁寧に教えてくれるうえに、日程もある程度調整してもらえます。テイクとして活動すれば、障がいのある仲間のためになるだけでなく、自分自身を向上させることにもなり、人との繋がりも広がります。みなさんも「興味があったら、すぐ行動」を実践してみませんか。きっといい結果に繋がり、素敵な出会いが待っていますよ。



# 大学生活の中で見つけたやりがい



由井 輝さん

(経済学科3回生)



私がパソコンテイクのボランティアを始めたきっかけは、もともと小さい子どもと関わるのが好きだったので、子どもと関わるボランティア活動が多いボランティアスタッフの説明会に参加したことです。その説明会で聴覚に障がいのある学生の「耳」の代わりとなるパソコンテイクのボランティアを募集していることを知りました。

私は商業高校出身で、高校在学中にワープロ部に所属していてタイピングには自信があったので、協力できればと思い、参加することにしました。

ただ、高校の時にっていたタイピングは、紙に書かれた文章を見ながらタイピングすることでしたが、実際に授業中に先生が話す内容を聞きながらタイピングすることは、勝手が違って最初は戸惑いましたが、一緒に授業にテイカーとして入ってくれた先輩がフォローしていただいたおかげもあって、だんだんと慣れることができました。

パソコンテイクの活動は、授業の空き時間を有効に使えるうに聴覚に障がいのある仲間のために貢献でき、やりがいがあります。また、実際にテイカーとして入る授業は、他学部の授業が多いのですが、他学部の授業を聞くことで、自分の知識の幅が広がり、自分自身にとってもプラスになりました。

テイカーとして活動するには、タイピングのスキルが必須だと思われがちですが、実際には初心者の方が多いです。活動を開始する前には講習会もあり、そこでスキルアップすることもできます。先輩のテイカーと二人一組で活動するので、フォローもあり、心配ありません。

パソコンテイク以外にも、ボランティアスタッフとして、子どもと関わる活動にも色々参加しました。またバスケのサークルにも所属しています。休暇中には台湾で実施されたアジアで異文化を学ぶBSP (Beginning Step Program) にも参加しました。パソコンテイカーやボランティアスタッフとして活動することで、他学部にも友だちが出き、交流の幅が広がりました。みなさんも大学生活の中でやりがいがあることを見つけてください。



ボランティアスタッフの  
情報はこちらから!

桃山学院大学 ボランティアスタッフ  
@volunteerandrew



是非フォロー  
してください!

# ノートテイク・パソコンテイク大募集!!

## 「ノートテイク・パソコンテイク」ってなに？

桃山学院大学には、障がいのある学生がたくさん在籍しています。その中で聴覚に障がいのある仲間のサポートをする活動の一つが、ノートテイク・パソコンテイクです。

耳の聞こえない学生が授業を受けるとき、先生の声や周りの音が全く聞こえなかったり、とても聞き取りにくかったりするので、話の内容や状況が理解できません。

そのため、聴覚に障がいのある仲間の授業にテイクが一緒に入り、仲間の「耳」となって、先生の言葉を聞き取って記録していきます。

## 「テイク」ってどうやってするの？

ノートテイクもパソコンテイクも2人1組のペアになって、聴覚に障がいのある仲間と一緒に授業を受けます。教室では仲間の隣の席に座り、先生の話や学生の発言などを仲間に伝えます。

聞いた言葉を整理しながら、パソコンテイクはパソコンに入力し、ノートテイクはルーズリーフに書き込んでいきます。

できるかどうか心配になるかもしれませんが、はじめは誰でも初心者です。活動に入るまでに、きちんと講習や研修をとって、トレーニングしますので、安心して講習会に来てください。

講習会では、いま活動中の先輩テイクが丁寧に指導します。

パソコンのタイピングが好きな人、書くことが好きな人はもちろん、今タイピングができなくても、「大学でなにかやってみよう！」と思う人は、ぜひチャレンジしてみてください。

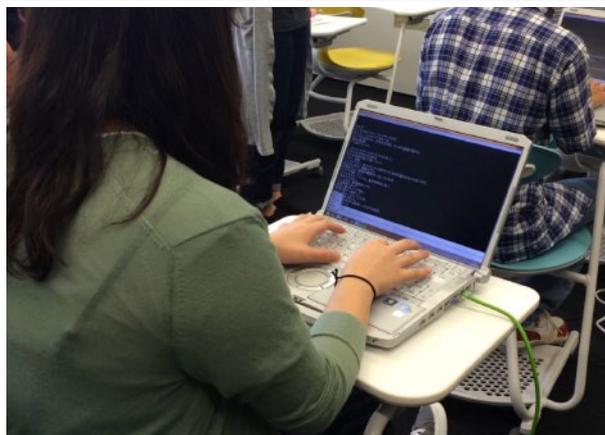
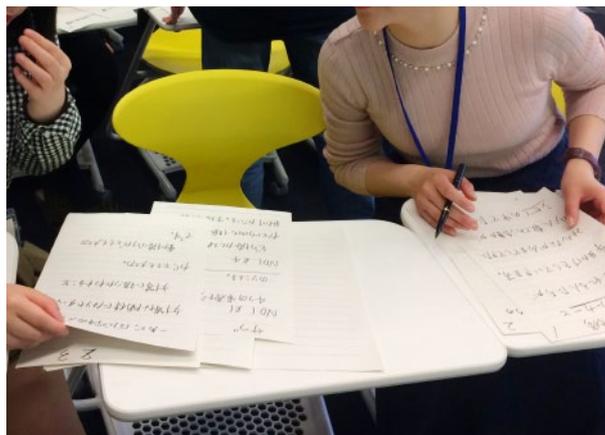
## 報酬が出るの？

ノートテイク・パソコンテイクは、大学内での有償ボランティアです。時給が発生する活動です。授業に入るだけでなく、映像の文字おこしも行います。

## いつ活動するの？

時間割の空き時間を利用して活動しますので、大学での空き時間を有効に活用できます。聴覚に障がいのある仲間の役に立てる活動です。しかも、自分の力にもなります。

この活動を通じて、集中力、聞く力、話を要約する力が身につきます。タイピング力も向上など、自分の実力アップにもなります。タイピングを練習しておけば、レポートや卒論を作成するときや、社会に出てからも役に立ちます。



【申込・問い合わせ先】

ボランティア活動支援室(聖ヨハネ館2階)月～金/9:10～16:40

✉ [gakusei2@andrew.ac.jp](mailto:gakusei2@andrew.ac.jp)